



ご注目

むすび深町では、自立訓練（生活訓練）通所利用者と、宿泊型自立訓練の新規入居者を募集しています。定員は通所利用が20人、宿泊型入居が18名です。小規模の特性を活かして、手厚い支援を行っています。すでに卒業され、ご本人の希望にあった住まいや仕事に移られた方もいらっしゃいます。ご利用希望の方は、ぜひ宿泊や通所の体験にお越しください。

担当：加藤 服部

通所 自立訓練（生活訓練） スケジュール



職員からのひと言

食堂にせめてもの雛飾り。お内裏さまとお雛さまだけだと、なんだかすこし寂しいので、むすび深町の開設当初から何故か食堂を見守ってきたぬいぐるみのシロも一緒に記念撮影。春は近いです。きっと。
(支援員 安達)

- 8:30…送迎
- 9:00…朝の掃除、準備
- 9:30…体操、朝礼
- 10:00…1限目カリキュラム
- 11:00…2限目カリキュラム
- 12:00…昼食
- 13:00…3限目カリキュラム
- 14:15…4限目カリキュラム
- 15:30…清掃、日誌記録
- 16:00…送迎

むすび深町は通所のカリキュラムを
土日祝日も実施しています。

むすび深町のHPこちら→



〒990-2462

山形市深町1丁目4-13

TEL 023-666-4471

FAX 023-666-4472

E-mail musubi-f@klala-net.jp

特定非営利活動法人 あじさい

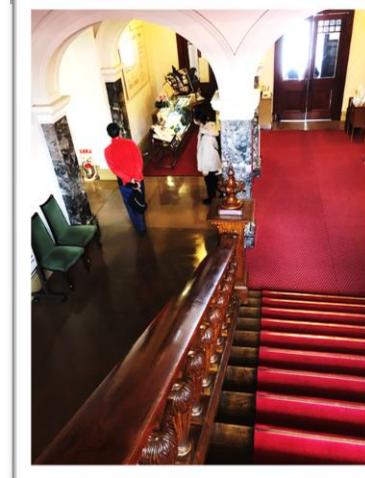


自立訓練（生活訓練）／宿泊型自立訓練
相談支援事業所

広報誌
2024年3月号

むすび深町

あなたの暮らしと社会を「むすぶ」



むすび深町では、生活訓練の一環で、月に一度の課外活動を行っています。今回は文翔館に行ってきました。ボランティアガイドの方より詳細な説明をいただきながら、館内やギャラリー、中庭を見聞できました。建物に込められた思い、山形県ゆかりの資材、そして先人の方々が文化や生活をどのように守ってきたのかなど、細部にわたって知ることが出来ました。地元民としてなんだか誇らしい気持ちがありました。自分達の今暮らしているこの土地に、たくさんの思いを巡らした貴重な機会でした。



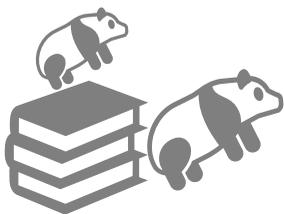
カリキュラム深掘り

ファイルNo.4

むすび深町では、生活力向上のため【健康管理】【時間の管理】（生活リズム、マナーなど）【金銭管理】ができるよう支援を行い、振り返りや助言をしています。ここでは実際に行っているカリキュラムを少し掘り下げて内容をご紹介します。

模擬業務/SW

Simulate Work



通所のカリキュラムにおいて、生活能力向上と同時に、仕事で求められる能力の向上も目指しております。実際に「働くこと」に繋げることができるよう考案した模擬業務（SW）を週に2～3回ほど実施しています。

利用者みなさんは、集中力の持続、作業の効率化を図ってもらうなど実務能力だけではなく、相談＆報告といったコミュニケーション能力も合わせて向上できるように取り組んでいます。

作業の内容から、今日の「業務」をえらぶ。

ポイント

自分にとっての課題を考えながら、以下の作業から今日やることを選べます。

作業内容

- 仕分け作業
 - ・ネジ/ボルト/ワッシャーの仕分け&組立
 - ・おはじきの色分け
- 工具を使った作業
 - ドライバーでの分解&組立
- 手先を使った作業
 - ボールペン分解&組立
- 事務作業
 - ・電卓計算
 - ・伝票仕分け
 - ・パソコンタイピング



利用者自身が今日やってみたい作業を選択します。道具の関係で人数が限られているものもあるため、重なった場合は、利用者みなさんと相談しあうようにしています。「お互いを尊重し合う」「自分の気持ちを伝える」「相手の気持ちを考える」様々な力が身に付いてきています。



今日の「業務」に関して、スタッフとやり取りする。

ポイント

指示を具体的にもらい、その工程が終わったらすぐ報告をして、そして次の指示をもらいます。



指示を待つ



指示を把握



作業後に報告

指導者のところへ、順番に並んで指示をもらいます。「会話に突然割り込まない」力が身に付いてきています。

自分がどこまで作業を進めたか、今回はどのように進めるか、相談しながら、指示をもらいます。「伝える」力が身に付いてきています。

指導者に報告です。自分でメモを行い、報告し、新たな指示をもらえるようにします。「話を聞く」力が身に付いてきています。



繰り返します

日付	作業内容	自分で進める力	集中	人とのやりとりの力	作業を行う力	職員からのコメント
4/14 (木)	おはじき 13:00-14:00 電卓計算 PC 伝票計算	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ できない	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ もう少し	取り組むことのできた たと思える。作業の が覚えがたなので通達 いれずとも、今日は 職員からのコメント 自分から質問する という姿勢が素晴らしい。
4/16 (金)	おはじき 13:00-14:00 電卓計算 PC 伝票計算	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ できない	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ もう少し	長文問題を一つ一つに 区別し理解を促す できた。今日は有用に 伝票を「集めて」こ と、いいよ。
4/17 (土)	おはじき 13:00-14:00 電卓計算 PC 伝票計算	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ できない	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ もう少し	職員からのコメント 今回は確認しきり あるの、いいよ。
4/18 (日)	おはじき 13:00-14:00 電卓計算 PC 伝票計算	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ できない	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ もう少し	職員からのコメント
4/19 (月)	おはじき 13:00-14:00 電卓計算 PC 伝票計算	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ できない	できた まあまあ もう少し	できた まあまあ もう少し	職員からのコメント

「業務」に対して、自分で評価し、スタッフからも評価をもらう。

ポイント

次につながるように記録を残すことで、自分の積み重ねを実感できる。

最後に評価を行います。自己評価のほか、支援員からも評価を以下の3つの視点でもらいます。

- 「自分で進める力」
- 「人とのやりとりの力」
- 「作業を行う力」

この記録を見れば、注意すべきこと、目指すべき基準などを後日になっても自分で思い出すことが出来ます。指示を出すスタッフにとってもわかりやすくGOOD!

※次号より、それぞれの作業を詳しく解説していきたいと思います。